



■幸橋～桜橋間（右岸）

- ・景観舗装整備、階段ベンチの設置
- ・ホップスコッチなどの設置
- ・河川敷にデッキを設置（春季）等

■灯の回廊

- ・浜町～愛宕坂を行灯でつなぐ「灯の回廊」整備

■佐佳枝ポンプ場跡地

- ・トイレの設置
- ・水場の設置
- ・活動拠点施設の整備検討

■足羽川のライトブリッジ構想

- ・木田橋～九十九橋の橋梁ライトアップ
- ・アリーナ（木田橋付近）～浜町限界までの河川敷のライトアップ
- ・幸橋～九十九橋の左岸堤防等のライトアップ

■泉橋～幸橋間（右岸）

- ・張芝、下水路蓋掛け（整備済）
- ・砂利河原復元、親水護岸整備
- ・まちキャンなど通年型イベントの実施
- ・河川アートの実施、スケートボードパークの整備 等

足羽山

# 足羽川の活用案（泉橋～幸橋） ※上流側から幸橋を望む

砂利河原の復元や階段護岸の整備により親水空間を創出するとともに、佐佳枝ポンプ場跡地にトイレや水場を設置し、河川敷をまちキャンなどのイベントサイトに活用できる環境を整備する。



現況

幸橋

スケートボード  
パーク

河川アート

トイレ・水場

イベントサイト

階段護岸

砂利河原



階段式ベンチ



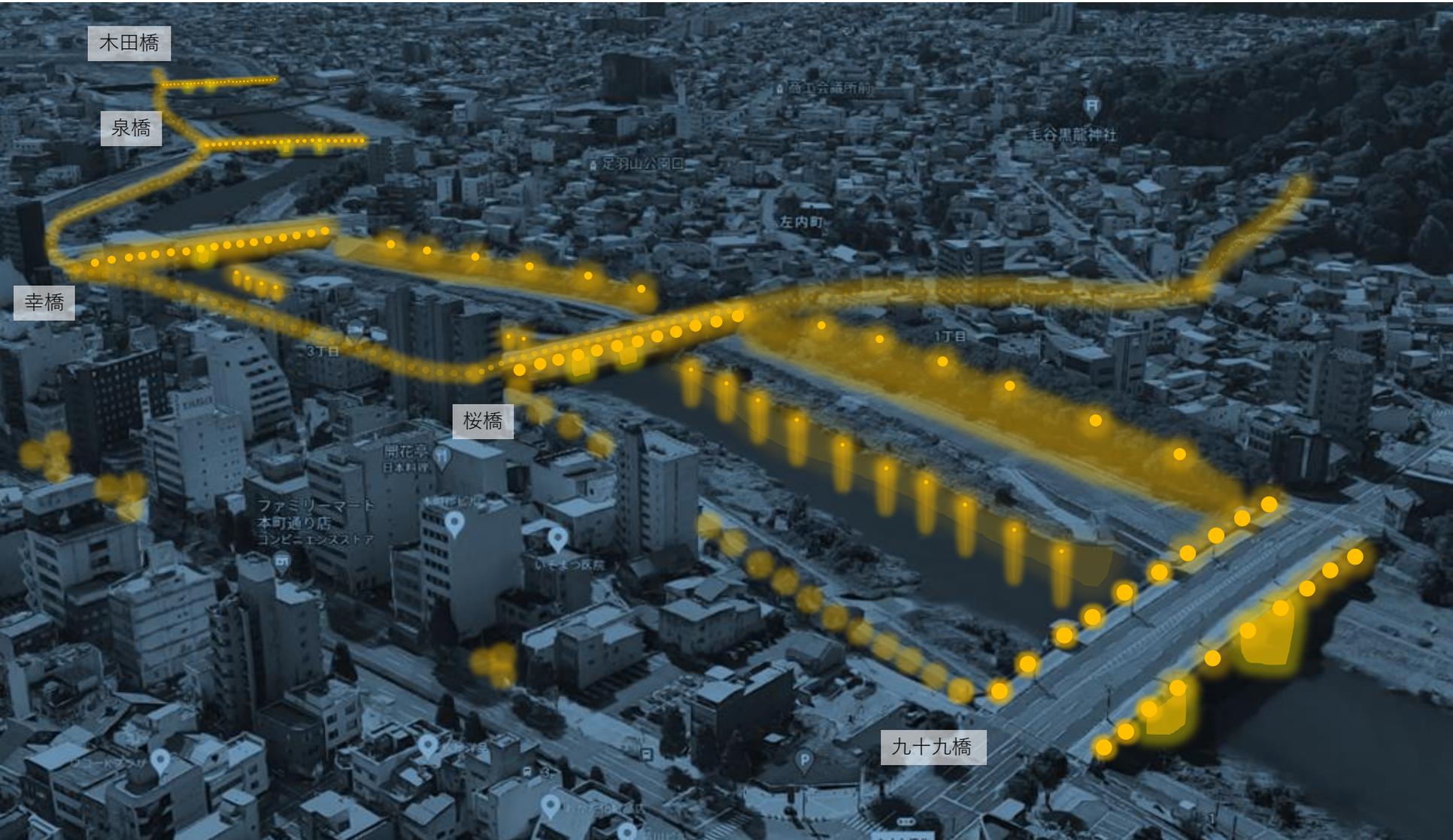
ホップスコッチ



フィットネス

# 足羽川ライトブリッジ構想（光の川）イメージ

木田橋から九十九橋の5つの橋を光の川でつなぐ「ライトブリッジ」を形成するとともに、浜町界隈を視点場として足羽川左岸をライトアップすることにより、対岸の夜間景観を飛躍的に向上させ、歩いて楽しめる水辺空間を演出する。



# 浜町のまちづくりの方向性（案）

## 〈目標〉

- 安全なまちづくり(地区内の通過交通を抑制して、安全・快適に歩ける道づくりを目指します。)
- おもてなしの空間づくり(市民や観光客が歩き回りたくなるような、足羽川の自然・景色が楽しめ、まちの歴史が見える「公園」のようなまちを目指します。)

## 〈基本方針〉

- 1 そぞろ歩きしたくなる洗練されたまち
- 2 「自然」「歴史」が調和した和の風情あるまち

## 〈具体的取組〉

### 1 そぞろ歩きしたくなる洗練されたまち

#### (1) そぞろ歩きのできる空間づくり

- ・灯の回廊の整備
- ・ライトアップ勉強会を通じた機運醸成による夜間景観の魅力向上
- ・石畳化、無電柱化、一方通行化などの歩行者空間整備の検討
- ・案内サインの充実 など



#### (2) 洗練されたまちの形成

- ・建物や塀の意匠誘導(継続)
- ・浜町を対象とした県都まちなか再生ファンド制度の創設
- ・洗練された飲食店の誘致 など



### 2 「自然」「歴史」が調和した和の風情あるまち

#### (1) 「自然」が感じられるまち

- ・足羽川景観の保全(継続)
- ・花壇や緑の空間の形成(継続)
- ・自然を活かしたおもてなしイベントの実施



#### (2) 「歴史」が感じられるまち

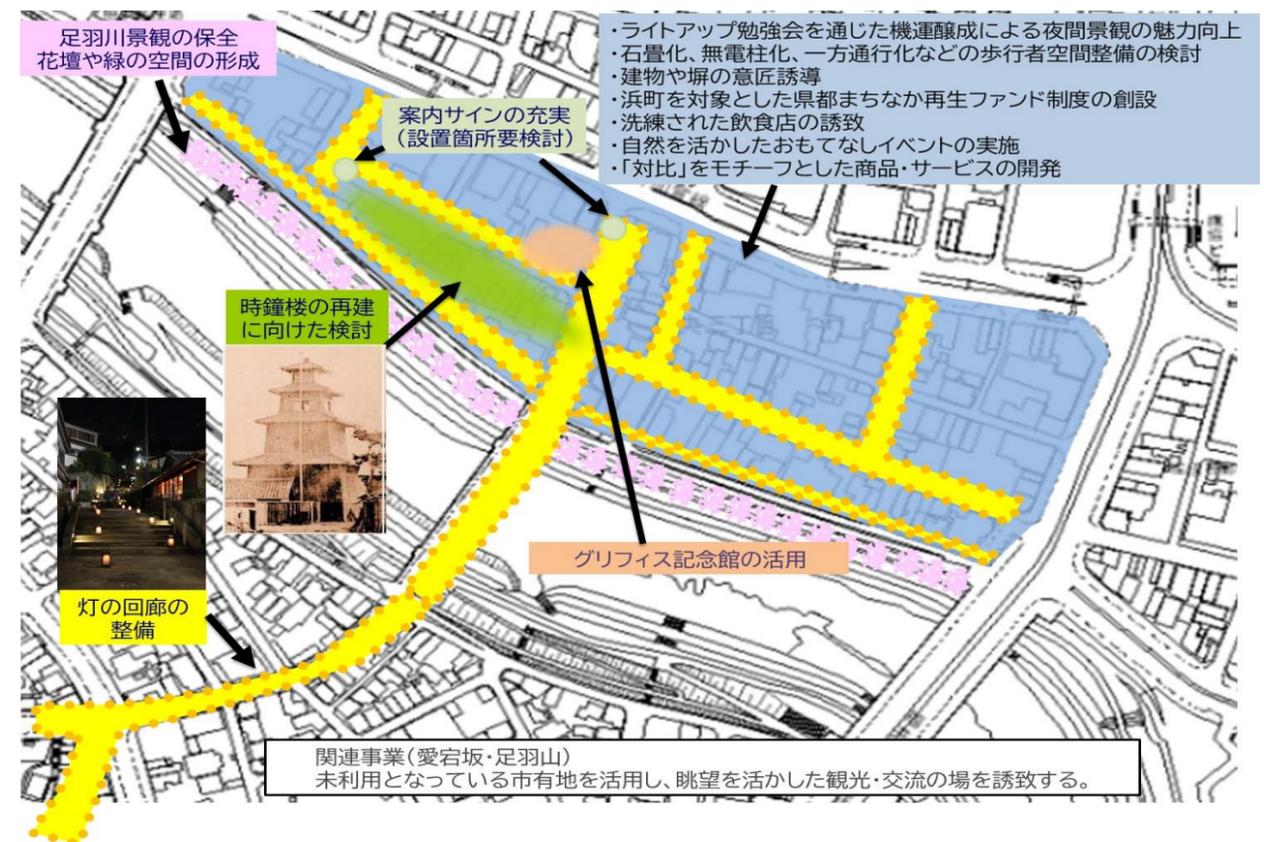
- ・グリフィス記念館の活用(ライトアップなどの整備)
- ・半石半木など「対比」をモチーフとした商品・サービスの開発
- ・時鐘楼の再建に向けた検討 など



## 〈スケジュール〉

内容	主体	短期	中期	長期
灯の回廊の整備	市	→		
ライトアップ勉強会を通じた機運醸成による夜間景観の魅力向上	地元、市	→		
石畳化、無電柱化、一方通行化などの歩行者空間整備の検討	市		→	
案内サインの充実	市	→		
建物や塀の意匠誘導	市	→	→	
浜町を対象とした県都まちなか再生ファンド制度の創設	県、市	→		
洗練された飲食店の誘致	地元	→		
足羽川景観の保全	地元、県、市	→	→	
花壇や緑の空間の形成	地元、県、市	→	→	
自然を活かしたおもてなしイベントの実施	地元	→		
グリフィス記念館の活用	地元、市	→		
半石半木など「対比」をモチーフとした商品・サービスの開発	地元	→		
時鐘楼の再建に向けた検討	地元、県、市	→		
浜町ソムリエなどの育成、現代アートギャラリーの設置、伝統工芸の職人工房の設置に向けた検討	地元、県、市	→		

## 〈取組イメージ〉



# 浜町の将来イメージ

洗練された飲食店舗の誘致や道路・建物の景観整備により、「しっとりとした時の流れを楽しめる街」のブランドを確立。

県都まちなか再生ファンドを  
活用した洗練された  
新規飲食店舗の誘致

建物や塀の意匠誘導



ダウン照明によるライティング・  
灯の回廊の整備

アリーナやマリOTTホテル  
などからの人流を考慮した  
案内サインの設置

石畳化、無電柱化、一方通行化（車両規制）  
などによる歩行者優先の空間整備



グリフィス記念館の  
修景整備・活用

浜町ソムリエなどの育成  
（界隈の案内や歴史、  
観光などについて説明）

時鐘楼の再建に向けた検討



現代アートギャラリー  
の設置検討



伝統工芸の職人工房  
の設置検討

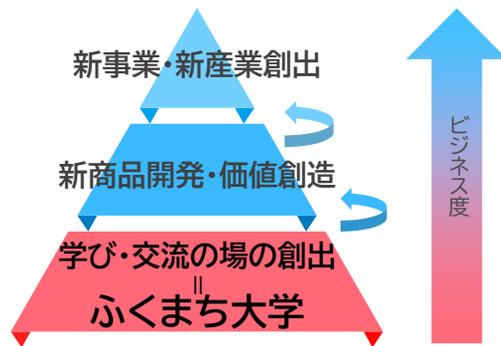
## 1 背景・コンセプト

「県都グランドデザイン」の将来像の実現に向けて、多様な人々が交流し共創する「場」をまちなかにつくり、新たな「たのしみ」、「くらし」、「しごと」を生み出し、まち全体に広げていくことが必要である。

### <コンセプト>

福井のまちなかを変えていく第一歩として、“開かれた学び・交流の場”をつくり、福井の未来を担う人材が生まれる基盤づくりを始める。結果として、プロジェクトの協創や事業化の担い手輩出に繋げる

<概念図>



## 2 プログラムの構成

まちなか全体をキャンパスに見立て、まちの賑わいやまちづくりの担い手を創出することを目的に、学びを通じた体験プログラムを展開します。

プログラム	理念・目的・位置付け	
学部・学科	「できる」	学んだことが参加者のできるにつながる
ゼミ	「ひらく」	参加者の自主性・主体性をひらく
部活動・サークル	「つながる」	体験したり身体を動かしながら交流を深める

## 3 活動実績・予定 (R4年度)

### <学部>

7月30日(土)

◎開学(まちの文化学部 野外映画学科)  
@中央公園 参加者数:約200人

8月21日(日)

◎まちの文化学部 インタウンデザイン学科  
講師:新山直広氏 @川辺の一角  
受講者数:9人

9月予定

◎まちの文化学部 福井の学びを学ぶ学科  
講師:森岡咲子氏 @グリフィス記念館

### <ゼミ>

8月5日(金)

◎まちの学び場をつくろうゼミ  
講師:高野翔氏 @LUFF  
受講者数:14人

9月2日(金)

◎まちの学び場をつくろうゼミ  
講師:村上純一郎氏 @LUFF

9月11日(日)

◎まちのスローライフゼミ  
講師:土田佳奈氏 @足羽山等

10月予定

◎まちの仕事をつくろうゼミ  
講師:interweave @XSTAND

※下半期においてもGDに関するゼミ等を  
順次実施予定



### <部活動・サークル>

8月21日(日)

◎まちの珈琲部  
講師:服部純平氏 @二ノ丸カフェ  
受講者数:16人

10月予定

◎まちのモルック部  
講師:ト井玲於奈氏 @中央公園

今年度参加者数(目標):1,000人